

人口ビジョン

中長期展望(平成72(2060)年を視野)

人口減少問題の克服/活力の維持・発展

①泉佐野市の現状

- ◆平成21(2009)年をピークに減少
 - ・2009年：103,052人(ピーク人口)
- ◆社人研(※1)による推計
 - ・平成52(2040)年：89,991人
 - ・平成72(2060)年：74,671人
- ◆合計特殊出生率
 - ・平成24(2012)年：1.30(府下18位)

②めざすべき将来の方向

- (1)働き盛りの世代の市外流出を抑えるために、安定した雇用を創出すること。
- (2)地域に新しい活力を生み出すために、泉佐野市への新しいひとの流れをつくること。
- (3)年少人口の減少を抑えるために、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえること。
- (4)人口減少社会に対応した地域の活力を維持するために、時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携すること。

③人口の将来展望

- ◆「出生に関する仮定」について
 - ・合計特殊出生率：平成52(2040)年までに2.07に上昇、その後維持(国の想定と同様)
- ◆「移動に関する仮定」について
 - ・社会増加：毎年0.4%上昇
- ◆人口の将来展望

上記の仮定により、

平成52(2040)年	102,158人
平成72(2060)年	100,666人

とする。

※1：国立社会保障人口問題研究所

総合戦略(平成27(2015)年度～31(2019)年度の5カ年)

1. 総合戦略の位置づけと基本的な考え方

(1)総合戦略の位置づけ

- 人口減少が始まった本市の現状
- 人口減少に歯止めをかけ、本市の将来像を実現する

(2)総合戦略の基本目標

- 基本目標1 「安定した雇用を創出する」
- 基本目標2 「定住魅力の強化により泉佐野市への新しいひとの流れをつくる」
- 基本目標3 「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」
- 基本目標4 「時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」

(3)総合戦略の計画期間

- 平成27年度から平成31年度までの5年間

2. 基本方針

(1)基本姿勢

- 効果的な施策の展開
- 地域住民や企業等との協力関係の構築
- ・民間の活力を引き出せるような取組

(2)戦略方針

- 国の5原則の重視
 - ・自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視
- 独自性を発揮した戦略を展開
 - ・空港玄関都市、自然環境や歴史・文化・産業等のポテンシャル
- 目標管理の徹底
 - ・数値目標の設定、PDCAサイクルによる検証・改善

3. 基本目標と基本的方向

基本目標1 安定した雇用を創出する

- 【数値目標】
 - ・市内在住就業者数：5年後に50,000人
 - ・市内事業所就業者数：5年後に55,000人

- 【基本的方向】
 - ・しごとの創生
 - ・農業等の振興
 - ・人材還流・人材育成

基本目標2 定住魅力の強化により泉佐野市への新しいひとの流れをつくる

- 【数値目標】
 - ・転入超過数：5年間で2,003人増加
 - ・観光客数：5年後に770万人/年

- 【基本的方向】
 - ・都市魅力の創出・発信
 - ・定住促進の強化
 - ・観光による交流人口拡充
 - ・外国人にやさしいまちづくり

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- 【数値目標】
 - ・出生数：5年間で4,498人
 - ・合計特殊出生率：5年後に1.60

- 【基本的方向】
 - ・結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実
 - ・地域医療の充実
 - ・学校教育の充実
 - ・生涯学習の推進
 - ・男女共同参画社会づくりの推進

基本目標4 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

- 【数値目標】
 - ・健康寿命：5年後に平均寿命との差を半減

- 【基本的方向】
 - ・健康で安心して暮らせるまちづくり
 - ・都市基盤の再構築

4. 具体的な施策

- ①地域資源を活かした産業振興と創業支援
 - ・中小企業総合支援事業、泉佐野産(もん)普及促進事業 など
- ②企業誘致
 - ・企業誘致奨励金事業、インバウンド観光消費喚起事業 など
- ③地域産業の競争力強化
 - ・中小企業総合支援事業 など
- ④女性に対する就職相談等
 - ・地域就労支援事業、女性起業家創業支援事業 など
- ⑤高齢者の就労支援
 - ・シルバー人材センター育成事業 など
- ⑥人材育成・雇用機会の拡充
 - ・地域雇用創造バンク事業、就労支援カレッジ事業 など

- ①定住・移住の促進
 - ・住宅総合助成事業、空き家バンク制度 など
- ②移住を検討している女性や移住女性のための地域交流活動の促進
 - ・市民協働型事業 など
- ③インバウンド観光による交流人口の拡充
 - ・インバウンド観光消費喚起事業、地方版MICE誘致推進事業 など
- ④国際医療交流の拠点づくりの推進
 - ・国際医療交流の拠点づくり事業、国際医療サポートセンター事業 など

- ①若い世代の経済的安定
 - ・地域就労支援事業、地域雇用創造バンク業 など
- ②妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援
 - ・不妊治療費助成事業、母子保健事業、乳児家庭全戸訪問事業 など
- ③安心・安全な出産・子育て支援の充実
 - ・こども医療費助成事業、ひとり親家庭医療費助成事業 など
- ④児童・生徒の学力・体力の向上・キャリア教育の推進
 - ・ICT活用教育推進事業、泉佐野まなびんぐサポート事業 など
- ⑤国際交流の推進
 - ・モンゴル国トクソブ県との友好交流事業、青少年海外研修事業 など
- ⑥仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の啓発
 - ・自己啓発事業等の実施、セミナーや啓発事業等の実施 など
- ⑦出合いの支援
 - ・婚活イベント等の共催・後援 など

- ①交通ネットワークの整備
 - ・コミュニティバス無料化事業、観光周遊バス運行実証実験 など
- ②時代に合った行政サービスの実現
 - ・近隣市町との事務連携、権限移譲、公共施設等の耐震化・改修事業 など
- ③市民が地域防災の担い手となる環境の確保
 - ・草の根防災訓練、地域の絆づくり登録制度 など
- ④食育の推進
 - ・家庭や学校などにおける食育推進、地域における食育推進 など
- ⑤エネルギーの地産地消
 - ・泉佐野電力の運営 など
- ⑥高齢者の健康づくり
 - ・健康マイレージ事業、健康増進事業 など
- ⑦地域づくり
 - ・防犯推進事業、三世帯同居等支援事業 など